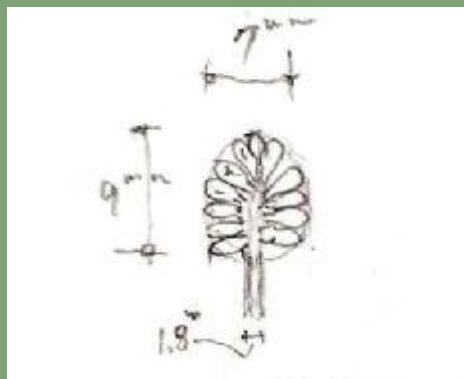


見沼田んぼ・野草スケッチ「ヒメツルソバ」 姫蔓蕎麦

分類：タデ科イヌタデ属

花言葉：愛らしい 気が利く 愛らしい 思いがけない出会い



小さな赤や白の団子状のヒメツルソバは、ツメクサを小さくしたような可愛い花が沢山道の際や庭の隅に咲いています。初夏からピンク色の花が庭の片隅やブロックの隙間に広がっているのを見かけます。今年は、12月に入っても暖かいせいで近所のお庭に咲き誇っていました。



12月5日撮影



↑ 丸い粒々は、五弁の小さな花序（2ミリ）の集まり

「ヒメツルソバ」(姫蔓蕎麦)	
世界：	ヒマラヤ地方の原産 明治年間に花卉として導入
生育地：	野生化
茎 丈：	茎葉に赤褐色の毛、茎は基部からよく分岐して地表を這う。50cmほど
葉：	先端の尖った卵形で全縁、短い柄があって互生、紫色・V字形の斑紋があり、秋には紅葉
花期：	夏に、茎の先端に淡紅紫色の花被片の小花が直径1cmほどに球状に固まった花序を多数つける。周年または夏
花・花色：	夏に、茎の先端に淡紅紫色の花被片の小花が直径1cmほどに球状に固まった花序を多数つける
種子：果実	3稜形、長さ約1.5mm。
特徴：	つる性多年草 グラウンドカバーとしても用いられる
名前の由来：	花も葉もソバ(蕎麦)に似ていることからの命名。
18. 12. 5ヒメツルソバの解説は、ウィキペディア 松江の花図鑑のサイトを参考にしました。	